

# 地域づくり協議会だより

◎ 原稿募集中

広報部会

発行日：平成31年 3月 1日 発行者：大和町連区地域づくり協議会  
一宮市末広三丁目6番1号(大和町出張所内) 電話：28-9006

## シルバー教養講座 社会見学

高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会大和支部監事 内田 清

シルバー教養講座は、一宮市高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会大和支部が主催する事業で、大和老連の方々が中心に参加されています。9月25日より講座が開催され、11月27日(10回目)に講座のまとめとして社会見学が実施されました。127名が参加、バス3台で養命酒・駒ヶ根工場と下條温泉に出かけました。

好天に恵まれ気分も最高、車内は笑顔が溢っていました。駒ヶ根工場は、きれいな空気と水に満たされた自然豊かな美しい環境の中に在りました。養命酒は薬臭さを抑え飲みやすく工夫した製法で製造されていました。下條温泉では、山海の幸に堪能し、食後は温泉で日頃の疲れを癒しました。帰りの車中はおみやげで一杯、お互いに話も弾み和やかな空気に包まれ、とって置きの楽しい一日になりました。



## 園児も呼びかけ、『交通安全！』



大和連区交通安全会は、一宮警察署はじめ交通安全会役員・学校関係者と龍明寺幼稚園・一宮尚正会大和保育園の園児達の協力を得て、11月8日毛受地内15日刈安賀地内の各交差点でシートベルト・チャイルドシート着用の関所を設け、着用率向上と交通安全を呼びかけました。赤信号で車が止まるとき園児達は一斉にプラカードを頭上いっぱいに掲げ、大きな声で着用を呼びかけました。ドライバーも同乗者も、かわいい園児達の連呼に笑顔で応えていました。

30日には、国道155号線末広・昭和地内の交差点で一時停止・横断歩行者保護とながらスマホ・ながら運転防止を呼びかけました。横断歩道では歩行者優先による事故防止、また車や携帯の便利さに負けた危険な運転の防止等、安全運転を心掛けるように交通安全意識向上をめざしました。

## 園児・児童と高齢者の交流会



今年も園児・児童らと高齢者の方との交流会が催されました。今回、大和東保育園(12/25)、大和西小学校(1/23)を参観しました。「地域の協力をいただき、子どもらの学びや成長を図る」園や学校のめあて具現化に、皆さんのがんばりが伝わってきました。また、昔から伝わる遊びを通じて高齢の方の心に触れた子ども達の満面の笑顔が心強く残りました。



## 成人学習講座 社会見学

成人学習部長 土本 典生

「より充実した人生を送るために！」のテーマで、10月18日から5回の講演などの講座を受講、11月22日受講生等69人の参加を得て社会見学を実施しました。

午前9時に公民館を出発し、蒲郡市を目指しました。最初は胡麻油で有名な竹本油脂の工場見学です。2班に分かれて胡麻油の効用や製造工程のDVD視聴、説明を受けたあと、工場内の実際の作業風景等を見学しました。

その後蒲郡オレンジパークで昼食、お土産等を購入後竹島水族館へ向かいました。水族館では、カビバラの曲芸？を見ることができました。歩く、そして、食べるという何でも無い芸でしたが、愛嬌のある顔で楽しませてくれました。そして帰路につき、午後5時に公民館に全員無事に帰つくることができました。

今年の成人講座は、講座の参加者が5回とも85人を超えており、時機を得たテーマ設定だった、と役員一同喜んでおります。来年度も多数ご参加くださいますようお願いいたします。





妙興寺ふれあいサロン 月第1(土) 妙興寺公民館  
12月:手品観賞 魔術の芸を瞬時に笑顔で楽しむサロン



未広3丁目かね同好会 & サロン隔月第4(土):未広3町安賀集会室  
8月:盆踊り&かね 穏やかに時が流れるサロン



A photograph showing a group of people gathered around a long wooden table covered with blue cloths, engaged in a traditional Japanese rope-making workshop. The workshop is held at the old Chionji Temple. In the foreground, several women are focused on their work, while others look on. The background shows more participants and the interior of the temple.

## 特集4 あなたの町内のふれあいサロン紹介



魅力  
いっぱい



ふれあいサロン南高井 月第3(木) 南高井公民館  
11月:ツリー作り 繊密さあふれる和気あいあいサロン



## で行くぶらり散歩⑧

三

## 散策場所 『藥王山 妙華院 觀音寺』

名鉄尾西線 観音寺駅下車 東100m 徒歩1分

弘法大師が疫病退散を願い建てた寺院と伝えられている。その後、1561年、浅井新八郎高政が刈安賀に城を築いた時、鬼門に当たる「観音寺」を立て直して城の守りとする。徳川の世は扶持(生活をするための金・物資)などをいただき栄える。

大正時代、重松玄空(げんくう)法院が住職となり、境内にミニ靈場を造ったり、テニスコートを作ったりして「地域貢献」に取り組む。そして東奔西走して「観音寺」駅の誘致を実現させる。当時奥様は「寺のことで一生懸命、病気がよくなるとすぐに動き回った。」と言ってみえた。住職は、残念なことに1928年「観音寺」駅開設7年後の35歳で亡くなる。1960年頃、観音寺・駅周辺の30世帯余から、現在450世帯を超る大きな観音寺町内会に発展をとげてきた。今、観音寺は、無人となるが、清掃活動などをして感謝の気持ちを表している。



2007年駅舎完成



清掃活動